

慶応二年五月廿二日より慶応二年五月廿六日まで

P8310595\_right

第八時出宅九時半齊海寺に至りセプリオン引合有之、航海往返入費六千

フラング、月々五千フラング

旅費御手当有之度旨申し立てる、永持へ軽賀として縞ゴロー一反贈り遣す、長蔵来る鯉児  
婚嫁の問合せし、藤山稽古に来る、寺山より亀甲□一筥為持佐七明細短冊京  
地より取寄次第一差越□旨申来る、小品を酬う

廿三日 巳 晴雲

五郎次此謝に来る、柳亭稽古に来る、革具足一班を示さる、出 殿昨引合の趣相掛り  
役に通達和泉守殿建白す、町田より小品持来、ぶん同□柳斎とも三人一同

酒肴を勧む、山本(長) 来る志願の義に付咄有之、前一系列と共に酌(く)む、伊佐(新) 来り、

岩□□の義

咄有之

P8310595\_left

廿四日 午 晴

八田(忠)、町田(□) 来る、辞して不面、出 殿、寄場会所より煙草買入る、須崎(常) 来る  
し旨

番町より藤児帰り来る、明日墨陀行の誘引状礫川へ遣す、保三来り別手出役願の通御免  
にて番代願の方追々運び相附の由

廿五日 未 薄晴

見廻り□宅調、町田小耕へ過日の謝として崎陽菘(\*)五本を遣す、栗原(助) 来り面す、斉藤□  
来り

面す、山本(長) を誘い太郎を伴い墨陀邸へ行き、□を買って帰る、正覚稽古に来りし旨、富沢  
叔母来り保三義に付、云々申聞る江連へ過の謝として鮮魚一籠為持遣す、□子襦袢地を酬わる  
廿六日 申 雨

\*1 菘(煙草・タバコ) ←長崎(崎陽) タバコ

( )内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。